

みんなの ひろば

4年に1度の 大宴会

安原地区で「うるうごう」



4年ぶりの宴会に盛り上がる会場

4年に1度の「うるう年」に地域の親睦を図ると、2月29日、安原地区「うるうごう」が、リバーサイドひの(下榎)で開かれました。この日は、地域の子どもから高

齢者まで約60人が集まり、福引やカラオケ、花笠音頭などさまざまに余興に楽しい時間を過ごしました。「うるうごう」は、当家(今年は瀬田一志さん、瀬田精豪さん)の呼びかけで4年に1度のうるう年に開かれる親睦会で、同地区では大正6年から1度も欠かさず続けられています。参加者は「4年に1度しかないけれど、全員が集まって顔を合わせることはすばらしいことです」などと話していました。以前は上下2つの地区で催されていました(平成12年)から安原全体で開かれています。また、大正時代からの様子が書かれたつづりが大切に受け継がれ、今年もその様子がつづられます。



「じょうずにできたかな」味見をする子どもたち

手づくりケーキの味は最高

町公民館でお菓子づくり教室

ケーキづくりに挑戦しようと、3月6日、お菓子づくり教室(町子ども週末活動支援ボランティアセンター主催)が町公民館で開かれました。参加した31人の子どもたちは、パウンドケーキとショートケーキを作る組に分かれて作業を開始。ケーキが焼きあがると甘い臭いが部屋中に漂い「うまってきたかな」などと言いつつ一足先に味見をしていました。生クリームを塗る作業は、下級生の担当で、思い思いに仕上げていました。できあがったケーキは全員で食べました。

楽しい運動でさわやかな汗

ニュースポーツ教室



大人気の楽しいキンボール

体を積極的に動かして健康な体づくりを目指すとして、2月4日・25日、ニュースポーツ教室を日野中学校体育館で開きました。教室に参加した延50人は、体育指導委員の指導を受けながら、大きなボールをキャッチし合う「キンボール」や氷上スポーツのカーリングの室内版「カローリング」などに挑戦。どの種目も年齢に関係なく、気軽に楽しめることあって教室は好評でした。

恵まれた自然を 残していこう

環境を考える講演会



真剣に話しを聞く参加者

自分たちが住む地域の自然環境について考えようと、3月7日、環境を考える講演会(黒坂コミュニティー協議会主催)が町公民館で開かれました。

講演会には町内から約40人が参加。日野総合事務所福祉保健局職員丸山栄人さんを講師に招き、水質や大気汚染の原因などについて考えました。参加者からは、ダイオキシンや鳥インフルエンザ、犬猫のフン公害などについて積極的な意見が出ていました。

同協議会環境部長の後藤長寿さんは「環境について真剣に考え、今後の生活に役立ててほしい」と話していました。